

人物展示コーナー「柏崎の先人たち」 令和5（2023）年度の展示

○テーマ 「柏崎県と、柏崎町の先人たち」

令和5（2023）年度は、明治6（1873）年に「柏崎県」が新潟県との合併により廃止されて150年の節目となることから、戊辰戦争を経て断続的に設置され、わずか5年の短命で廃止された柏崎県とその時代に関連する柏崎の先人について、関連資料を展示しました。

- 展示内容
- ・村山禎治 柏崎県立学校で、算術教師となる。
 - ・岡村為蔵 柏崎民政局（柏崎県の前身）の御用掛、のちに越後府民政局に務めた。
 - ・星野藤兵衛 柏崎民政局（柏崎県の前身）の御用掛となり、食糧や人夫の調達に協力。
 - ・関矢孫左衛門 居之隊（越後の代表的な草莽隊）に所属して、戊辰戦争に参加。

※柏崎県 第1次 慶応4（1868）年7月～明治2（1869）年2月
3郡（刈羽・頸城・魚沼）を管轄

第2次 明治2（1869）年8月～明治4（1871）年11月
5郡（刈羽・頸城・魚沼・三島・古志）を管轄

第3次 明治4（1871）年11月～明治6（1873）年6月
5郡（刈羽・頸城・魚沼・三島・古志）を管轄

○会 期 令和6（2024）年1月～6月



展示替えした収蔵資料の展示